

資 料

- p. 2- 3 パンフレット（おもて・うら）
- p. 4- 7 当日資料
- p. 8-10 アンケート 及び 結果の概要

入場無料・エントリー推奨〈当日参加可〉

参加エントリーはこちら⇒



わだいのフェスタ 2024

テーマ

和滋戦番外編

和滋戦については裏面をご覧ください

大学にゆるキャラは必要か？ ゆるキャラから見た大学ブランディング



和歌山大学公式キャラクター わだにゃん



滋賀大学公式キャラクター カモンちゃん

詳しくは
こちら！

とき 2024年11月3日 ⑩ 13:00-15:00

ところ 和歌山大学 東1号館 E1-101 (和歌山県和歌山市栄谷930)

主催 和歌山大学 協力 滋賀大学 国立大学協会 国立大学フェスタ参加事業



11月3日⑩は 11:00より和歌山大学同窓会総会が、13:00よりおもしろ科学まつり2024が同時開催されます。
和歌山大学へお越しの皆さまは、公共交通機関にてご来場ください。



大学にゆるキャラは必要か？ ゆるキャラから見た大学ブランディング

日 時 2024年11月3日(日・文化の日) 13:00-15:00
会 場 和歌山大学東1号館(旧G棟) E1-101教室 (和歌山県和歌山市栄谷930)
主 催 和歌山大学 協 力 滋賀大学

きょうの催し

- 一 開 会・挨 拶 (氏名敬称略)
- 一 第 一 部〈和歌山大学の今とブランド〉
 - 登 壇 本山 貢(和歌山大学長)、西村 竜一(本学教育機構データ・インテリジェンス教育研究部門講師)、西川 昌克(飛耀会(観光学部同窓会)会長)、南方 ののか(本学学生 執行委員会代表)
 - コーディネーター 足立 基浩(本学副学長/経済学部教授)・湯川 愛理(本学学生)
- 一 第 二 部〈ゆるキャラって何なん？ ブランドとプライド〉
 - 登 壇 わだにゃん(和歌山大学マスコットキャラクタ)、カモンちゃん(滋賀大学マスコットキャラクタ)
 - そして、会場の皆さんも奮ってご参加ください。
 - コーディネーター 足立 基浩・湯川 愛理
- 一 和歌山大学からのお知らせ
- 一 閉 会(閉会后、集合写真撮影を行います。)
 - ※総司会 笠野 衣美(フリーアナウンサー)

きょうの企画

ゆるキャラという言葉が生まれて20年。現在ではゆるキャラの着ぐるみが地域や企業のプロモーションキャラクタとして活躍するのみならず、海外でも登場するようになり、ゆるキャラを見ない日はないといってもいいほどです。さて、和歌山大学をはじめ、多くの国立大学ではさまざまなキャラクタがつくられています。それらは単にかわいいから作ったわけではなく、実は大学としてのブランディング戦略が隠されています。そして、キャラクタをつくっていない大学もあります。

果たして大学にゆるキャラは必要なのでしょうか？

今回の主人公は和歌山大学のマスコットキャラクタ・わだにゃん。また、和滋戦をはじめ、さまざまな分野で交流のある滋賀大学からマスコットキャラクタ・カモンちゃんをお招きして、ゆるキャラから見た大学ブランディングについて縦横無尽に考えてみましょう。

きょうの主人公 〈わだにゃん〉と〈カモンちゃん〉



わだにゃん

和歌山大学に住みつくネコをモチーフとしてセレクト。
大学のシンボルカラーであるオレンジ色と地域密着型の大学の象徴として「みかん」をかぶらせている。
性格／勉強熱心だけど、ちょっとヌケてる 特徴／頭にみかんを常にかぶっている。ちなみに無果汁 キメ台詞／落ちつくわ～




カモンちゃん

日本の開国を主導した井伊直弼がモチーフで、名前は直弼公の官位、掃部頭（かもんのかみ）に由来。滋賀大学に”come on”という意味も掛けられている。
年齢・性別／5歳の男の子 誕生日／11月29日 好きなもの／お茶・お菓子 趣味・特技／和歌・茶道・能狂言・武術

きょうの登壇者・コーディネーター・司会進行 プロフィール

第一部〈和歌山大学の今とブランド〉 登壇者・コーディネーター

本山 貢〈もとやま みつぎ〉

和歌山大学学長。博士（体育学）。1962年岡山県生まれ、1996年和歌山大学教育学部着任。専門はライフサイエンス・スポーツ科学。教育研究の傍ら「わかやまシニアエクササイズ」を開発し、住民による健康づくりを支援し健康寿命を延伸させる成果をあげている。2023年より第18代学長に就任、学長として日々精力的な活動に携わっている。 
〈学長室だより(QRコード)〉 ↑↑

西村 竜一〈にしむら りゅういち〉

和歌山大学教育機構データ・インテリジェンス教育研究部門講師。専門は情報通信、授業を担当する全学対象の本学データサイエンス教育は文部科学省から「プラス」認定。また、学生自主創造支援部門（クリエ）担当教員としてさまざまな学生プロジェクトの指導を担当し、地域や卒業生がともになって人材を育てる取り組み「地域協働オープンラボ」のため奔走中。

西川 昌克〈にしかわ まさかつ〉

和歌山大学飛耀会（観光学部同窓会）会長。和歌山大学観光学部の第1期卒業生で、現在は県内自治体に勤めており、「ふるさと納税」を担当。市内製品の品質向上に向けた取り組み、「返礼品Gメン」など全国初の取組に着手し、寄付額の向上に貢献。

南方 ののか〈みなかた ののか〉

和歌山大学教育学部2回生。和歌山大学（学生）執行委員会代表。

コーディネーター 湯川 愛理〈ゆかわ あいり〉

和歌山大学経済学部4回生。

全体のコーディネーター

足立 基浩〈あだち もとひろ〉

和歌山大学副学長／経済学部教授。1968年東京都生まれ。1992年慶應義塾大学経済学部卒業。朝日新聞社記者を経て、1994年ロンドン大学SOAS校ディプロマ、2001年ケンブリッジ大学土地経済学研究科博士号（Ph.D）取得。1996年和歌山大学着任。専門分野は都市活性化論。研究の傍ら、中心市街地ではオープンカフェ With を学生とともに運営するとともに、テレビ番組では「まちづくり経済学者」として知られている。

総合司会

笠野 衣美〈かさの えみ〉

アナウンサー。和歌山県生まれ。和歌山大学教育学部卒業後、テレビ宮崎に入社、その後、テレビ和歌山を経て、現在フリーアナウンサーとして活動。業務歴は、ニュース・ナレーション・番組司会 etc.、リポート・イベント司会・トークショー、シンポジウムコーディネーター他。現レギュラー担当番組は、テレビ和歌山「マンスリー県政ニュースワイド」（毎月最終金 19:30-19:59）、和歌山放送「ボックス」（毎週月水木 8:55-11:10）、「歌のない歌謡曲」（毎週金 7:30-7:45）

データで見る 和歌山大学と滋賀大学

	和歌山大学	滋賀大学
学部構成	教育学部・経済学部・システム工学部・観光学部 社会インフォマティクス学環（学部等連係組織）	教育学部・経済学部・データサイエンス学部
学部学生数	約 3,900 名	約 3,500 名
大学院構成	教育学研究科（専門職学位課程（教職大学院））・経済学研究科（修士）・システム工学研究科（修士・博士）・観光学研究科（修士・博士・専門職学位課程）	教育学研究科（専門職学位課程（教職大学院））・経済学研究科（修士・博士）・データサイエンス研究科（修士・博士）
大学院学生数	約 520 名	約 240 名
教員数※	約 230 名	約 210 名
外国人留学生数※	約 140 名	約 140 名
キャンパス	栄谷キャンパス	彦根キャンパス（経済学部・データサイエンス学部） 大津キャンパス（教育学部）
経済学部の母体 当時の校章	和歌山高等商業学校（1922 年設立） 	彦根高等商業学校（1922 年設立） 
同窓会	柑芦会（経済学部）、紀学同窓会（教育学部）、@sys（システム工学部）、飛耀会（観光学部）	陵水会（経済学部・データサイエンス学部）、教育学部同窓会（教育学部）
略称	和大（わだい） ※わかだいではない	滋賀大（しがだい）・滋大（しだい）
スクールカラー	オレンジ	ブルー
年間の学費	535,800 円	535,800 円

※学部・大学院を含む数。

（「大学ポートレート」など公開情報より引用）

和滋戦（滋和戦）とは？

和滋戦（滋和戦。以下、和歌山大学を先に標記）とは「和歌山・滋賀大学学長杯争奪総合定期戦」の略称で、和歌山大学と滋賀大学は、ともに師範学校と高等商業学校を母体として、1949年に学芸学部（現・教育学部）と経済学部の2学部体制で発足しました。近畿圏内の似たような高等教育機関ということもあり、旧制時代から両校のクラブ間では盛んに交流が行われていました。

そのなかで、課外活動の健全な発展と大学相互間の親睦を目的に総合定期戦の実施が両大学の学生から提案され、1966年度から両大学の体育会が中心となって本大会を運営・実施する現在の和滋戦（当番大学は2大学で交替）が行われるようになりました。

和滋戦はこれまで57回開かれ、過去の対戦成績は和歌山大学23勝に対し滋賀大学31勝、引分は3となっています。

アンケートのお願い

本日は「わだいフェスタ2024」にご参加いただき有難うございます。次回の催しをよりよいものとするため、同封しているアンケートに是非ご回答ください。アンケートは出口にてお渡しいたきますようお願いいたします。

また、皆さんの「ゆるキャラ活用案」があれば、右側のQRコードからふるってご応募ください。

自宅のPCからアクセスする場合、アドレスは <https://forms.office.com/r/i33adccdX8> です。

皆さんから頂戴したアイデアを活用させていただく場合があります。よろしくお願ひします。

（受付期間 2024年11月3日～2024年11月30日）



和歌山大学基金室より〈重要な〉お知らせ

大学にとって最も基礎となる部分は人材の育成です。次世代に活躍する若者たちを育て、社会に送り出すためには、大学教育の根幹となる教育、研究そして社会貢献の強化が重要な鍵となります。

しかし、昨今の社会情勢は、これらの基盤が大きく揺らいでいます。

ただ、私たちは学生の学びを止めることはできません。また、研究や社会貢献活動など、大学の多様な活動を維持していく必要があります。

そのためには財政基盤の多様化が不可欠です。多様化を実現させるためには、

大学を構成する多様な活動の充実を図るべく設立した基金制度の発展がひとつの鍵になると考えています。

私たち和歌山大学は、約5万人におよぶ卒業生をはじめ、皆様方のお力をいただきながら、どうしても活動を継続し、発展させていきたい。私たちはそう考えています。

ぜひとも、温かいご支援を賜りますよう、なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

2024年11月 和歌山大学基金室



和歌山大学基金には、以下の4種類があります。

- ・ **大学活動支援基金 (一般基金)** 大学全体のために柔軟に活用します。大学をあげての教育・研究・地域貢献に係るプロジェクト支援、キャンパスの環境整備など、大学全体のために活用します。
- ・ **特定目的支援基金** 特定の目的のために活用します。種類は、以下のとおりです。

(1) 災害支援事業、(2) グローバル人材育成支援事業、(3) 教育振興支援事業、(4) 研究活動支援事業、(5) 研究活動等に対する支援、(6) 学生諸活動支援事業、(7) 地域共創支援事業、(8) アントレプレナーシップ人材育成支援事業、(9) ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進支援事業、(10) 附属学校三校の活動に係る支援事業
- ・ **就学支援事業基金** 就学支援を理由とした目的のために活用します。個人による寄附の場合、所得税優遇の幅が広がります。
- ・ **研究等支援事業基金** 研究支援を理由とした目的のために活用します。個人による寄附の場合、所得税優遇の幅が広がります。

寄附のしかたは、書面でのお申込みとクレジットカードでのお申込みの2通りがございます。

クレジットカードでの寄附については、下記のQRコードより行うことが可能です。

和歌山大学では、寄附者の想いやさまざまなニーズをあずかり、後日に残る寄附経験の提供を目指すべく、積極的に取り組んでおります。

お申し込みの詳細や税制上の優遇措置、ご寄附への謝意については、和歌山大学基金ホームページより確認できます。

あわせて、和歌山大学基金室まで遠慮なくご相談ください。

和歌山大学基金ホームページ

▶web. <https://www.wakayama-u.ac.jp/fund/>

和歌山大学基金

検索



お問い合わせ先 (和歌山大学基金室)

▶add. 〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷 930

▶tel. 073-457-7089

▶mail. kikin@ml.wakayama-u.ac.jp

〈わだいフェスタ 2024〉 来場者アンケート

本日はわだいフェスタ 2024 にお越しいただきありがとうございます。今後の催しをよりよいものとするため、アンケートへのご協力をお願いします。回答のうえ、出口にてお渡しください。

質問 今回の「わだいフェスタ 2024」をどこで知りましたか？（複数回答可）

- 1 和歌山大学ホームページ 2 和歌山大学以外のホームページ 3 友人・知人からの紹介
4 新聞・コミュニティ誌の告知記事 5 チラシ（フライヤー）を見て 6 その他

質問 参加した動機をお知らせください。（複数回答可）

- 1 和歌山大学卒業生・関係者だったから 2 友人・知人から紹介されたから
3 内容に興味を持ったから 4 業務上必要であったから 5 おもしろ科学まつりにあわせて 6 その他

質問 内容は「自身にとって学びのある内容」でしたか？（いずれか1つ）

- 1 はい 2 どちらかというとはい 3 ふつう 4 どちらかというといいえ 5 いいえ

質問 内容は「自身にとって面白く感じました」か？（いずれか1つ）

- 1 はい 2 どちらかというとはい 3 ふつう 4 どちらかというといいえ 5 いいえ

質問 時間の長さはいかがでしたか？（いずれか1つ）

- 1 長かった 2 ちょうどよかった 3 短かった

質問 今回の「わだいフェスタ 2024」でのご感想、印象に残った内容や、改善してほしい点があれば、お教えてください。（自由記述・空欄可）

質問 あなたが考える「ゆるキャラ活用」アイデアがあれば、お教えてください。（自由記述・空欄可）

なお、この質問は 2024 年 11 月 30 日までウェブでも回答できます（URL は本日お渡ししたパンフレットに掲載しています）ので、この部分は空欄で提出いただいても構いません。

質問 ご自身に関する質問です。あなたの属性をお願いします。（いずれか1つ）

- 1 和歌山大学卒業生 2 和歌山大学教職員 3 和歌山大学以外の教職員 4 市民
5 学生 6 それ以外

質問 あなたの年代をお願いします。（いずれか1つ）

- 1 0～10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代 6 60代 7 70代～

質問 あなたの性別をお願いします。（いずれか1つ）

- 1 女性 2 男性 3 無回答

本日はお越しいただきありがとうございます。引き続き和歌山大学をよろしく申し上げます！

〈わだいフェスタ 2024〉 来場者アンケート結果（概要）

2024年11月

実施年月日 2024年11月3日

方 法 〈わだいフェスタ 2024〉終了後にペーパーベースにより回収

有効回答数 60件（回収率 60,6%）

質問 今回の「わだいフェスタ 2024」をどこで知りましたか？（複数回答 ※パーセンテージの母数は60）

1 和歌山大学ホームページ	14	23.3%
2 和歌山大学以外のホームページ	1	1.7%
3 友人・知人からの紹介	41	68.3%
4 新聞・コミュニティ誌の告知記事	0	0.0%
5 チラシ（フライヤー）を見て	3	5.0%
6 その他	4	6.7%

質問 参加した動機をお知らせください。（複数回答 ※パーセンテージの母数は60）

1 和歌山大学卒業生・関係者だったから	28	46.7%
2 友人・知人から紹介されたから	7	11.7%
3 内容に興味を持ったから	5	8.3%
4 業務上必要であったから	13	21.7%
5 おもしろ科学まつりにあわせて	1	1.7%
6 その他	8	13.3%

質問 内容は「自身にとって学びのある内容」でしたか？（いずれか1つ）

1 はい	34	57.3%
2 どちらかというとはい	14	23.3%
3 ふつう	10	16.7%
4 どちらかというといいえ	0	0.0%
5 いいえ	2	3.3%

質問 内容は「自身にとって面白く感じました」か？（いずれか1つ）

1 はい	34	56.7%
2 どちらかというとはい	15	25.0%
3 ふつう	8	13.3%
4 どちらかというといいえ	1	1.7%
5 いいえ	1	1.7%

（他無効回答1）

質問 時間の長さはいかがでしたか？（いずれか1つ）

1 長かった	11	18.3%
2 ちょうどよかった	48	80.0%
3 短かった	1	1.7%

質問 ご自身に関する質問です。あなたの属性をお願いします。(いずれか1つ)

1	和歌山大学卒業生	17	28.3%
2	和歌山大学教職員	2	3.3%
3	和歌山大学以外の教職員	0	0.0%
4	市民	0	0.0%
5	学生	39	65.0%
6	それ以外・無回答	2	3.3%

質問 あなたの年代をお願いします。(いずれか1つ)

1	0～10代	9	15.0%
2	20代	31	31.7%
3	30代	1	1.7%
4	40代	3	5.0%
5	50代	2	3.3%
6	60代	5	8.3%
7	70代～	8	13.3%
	無回答	1	1.7%

質問 あなたの性別をお願いします。(いずれか1つ)

1	女性	4	6.6%
2	男性	54	90.0%
3	無回答	2	3.3%

※以下の自由記述式の質問については、個人が特定される可能性があるため掲載は省略します。

質問 今回の「わだいフェスタ 2024」でのご感想、印象に残った内容や、改善してほしい点があれば、お教えてください。(自由記述)

質問 あなたが考える「ゆるキャラ活用」アイデアがあれば、お教えてください。(自由記述)

以上